

授業科目

看護管理学特論 ※CNSコース

担当教員名 坪倉 繁美 (非)	対象学年	1	対象学科	健康科学 (看護学分野)
	開講時期	前期	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	30

授業の概要

保健医療福祉に携わる人々の間を調整したり、看護管理に携わる看護職と協力してCNSとして活動を行うための専門的知識と技法を教授し、専門外来やスタッフ教育の企画立案などの演習を通して組織運営の実践力の修得を目指す。

授業の目的

看護管理に必要な知識体系について総合的に理解し、CNSとして保健医療福祉に係わる人々の間の調整や看護管理者として看護の質を向上させるための組織的取り組みに必要な知識を修得する。

学習目標

1. 看護の質を保証し向上するためには何が必要なのか、管理を考える視点を説明する。
2. 看護職のキャリア開発の方法を学び、スタッフ教育を具体的に計画する。
3. CNSの専門性を活かし、機能する方法を述べる。
4. 看護を効果的かつ安全に提供するための技法を説明する。
5. 看護を取り巻く諸制度を理解し、診療報酬制度と費用対策効果について説明する。
6. 組織を捉える知識体系を学び、組織改革の必要性を述べる。
7. 看護管理を行う上での課題を述べる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考
1	科目ガイダンス・看護管理学概説	講義
2	看護サービスマネジメント	講義 討議
3	人的資源活用論I	講義 討議
4	人的資源活用論II	講義 討議
5	CNSによるスタッフ教育計画と実践	発表 討議
6	医療安全とリスクマネジメント	講義 討議
7	看護情報管理	講義 討論
8	看護外来の機能と運営	講義 討論
9	リーダーシップ論 (看護管理者の役割と機能)	発表 討議
10	CNSと専門性と機能	講義 討論
11	看護制度と看護政策	講義 討議
12	看護経営と経済	講義 討議
13	看護組織論 (職場風土・組織文化)	講義 討議
14	看護組織論 (組織と組織改革)	講義 討議
15	看護管理の課題と展望	発表 討議

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書						
参考書	看護管理学学習テキスト第2版 全8巻+別巻	井部俊子, 中西睦子監修	日本看護協会出版会	2011年		
その他の資料	配布資料にて行う					

評価方法

プレゼンテーション50%
課題レポート50%

履修上の留意点

看護管理学特論で学ぶ課題には、保健・医療・福祉分野に幅広く探究すべき内容が含まれています。それらの課題にそれぞれの分野からの意見を出し合い討論しながら授業を進めていきます。受講生は、自分の経験を踏まえテーマに対する意見を持って参加してください。

オフィスアワー・連絡先

授業時に確認すること